

山形ブロック 活動報告会

令和2年度 厚生労働省 社会福祉推進事業
行政と連携した

ひきこもりの地域家族会の活動に関する調査研究事業

オールグリーン 代表 寺田 佳枝

本日本お伝えしたいこと

- 自己紹介
- 設立の経緯
- オールグリーンとは？
- オールグリーンの特徴
- 参加者の声
- 行政との連携で大切にしていたこと
- 行政の連携の機会があることの意味
～よかったこととこれからに期待すること～

自己紹介

- 子どもが16歳の頃から、不登校がちになって悩むことが多かった（11年間の不登校・ひきこもり経験）
- 何が原因なのか探すために病院を転々としていた
- この1年くらいで、自分の周りにつながりができて、自分も子供も前向きになってきたと感じる
- 昨年夏にクローバーの会の樋口氏が主催する「不登校ひきこもり入門講座」や「親の会」に参加し、昨年秋から大江町に「オールグリーン」という家族の集まりを立ち上げた

家族として感じやすいこと (個人的な経験から)

- 「不登校」というと子どもや自分に問題があるのでは、と考えていた
- 親も学校も「どうやったら通えるようになるか」ということ自体に注目してしまいがち



親も学校もゆっくり休んでもいいよと言えない



自分も子供も居心地が悪い時期があった

○設立の経緯

- 設立者となった寺田自身の経験
- 大江町で行われた出張相談会
（講話 と 座談会の構成）
- 一緒に立ち上げる仲間との出会い
（オブザーバーである橋本氏・鈴木氏）

○オールグリーンとは？

・大江町 不登校・ひきこもりの家族会

『今起きている事実をオールOKとしてしっかり受け止め、不安の赤信号を少しずつ青信号に代えてオールグリーン⇒はじめての一步へ』という思いのもと、2020年9月に設立。

開催日時：毎月第3木曜 19時～21時

場所：大江町中央公民館 ぷくらす 2階「学習ルーム」

参加費：無料

活動内容：お茶を飲みながら語らう



○オールグリーンの特徴

- ・ 地元の当事者や家族だけでなく幅広いメンバーが参加
- ・ 教育委員会や健康福祉課の方との意見交換の機会をもらえた

大江町の行政における担当

不登校

教育委員会



ひきこもり

健康福祉課



行政の担当は分かれているが、
オールグリーンは双方の協力のもとで運営している



参加することで安心を得られるのでは？

○参加者の声



(オールグリーンができるまでは)
どこに相談したらいいのかわからなかった

私だけじゃないんだと思った

夜に開催してくれるので参加できる

家の近くでこういう場ができてよかった

参加して話をするのがいつも楽しみ

子供が家でのびのびしてきた



○行政との連携で大切にしていること

- ・ オールグリーンという団体が何をやろうとしているのか、**目的を明確にし、それを知ってもらうこと**

- ・ 「不登校・引きこもりとは何か」ということを漠然としてではなく、**現実的に捉えていただけるよう**に伝えること

○行政との連携があることの意味

良かったこと

- ・ 教育委員会の方々に「連携の目的」や「家族会を知ってもらうこと」、「保護者の要望や思い」というものに関心を持ってもらい聞いてもらえたこと
- ・ 個人情報保護の観点から不登校児童の情報を得ることに困難を感じていたが、周知に協力して頂けたことで繋がりがやすくなったと感じる

これからに期待していること

- ・ 不登校の子供や親が孤立しないために、現場の教員の方々ともつながりが持てるといいのではないか
- ・ 学習や人とのつながりの機会などの面で私たちもアイデアを得て地域を考えていきたい

オールグリーンからの報告は以上です。

ご清聴ありがとうございました